

研究構想シート		学校名	出雲市立須佐小学校
		氏名	榎谷 由美
A 研究主題 自ら学び続け、主体的に問題解決しようとする児童の育成 ～考えを伝え合い、深め合うための指導法を工夫した授業づくりを通して～			
B 研究の目的 自ら学び続け、主体的に問題解決しようとする児童を育成するために、考えを伝え合い、深め合うための指導法を工夫した授業づくりを通して、その効果的な方法を明らかにする。			
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表や友達との話し合いの場面において、自分から話すことが好きではない児童が多い。</li> <li>・学力差が大きい。</li> <li>・支援が必要な児童が多数いる。</li> </ul>	E 手立て・内容（研究仮説） <ol style="list-style-type: none"> <li>1.つけたい力を明確にした授業づくり</li> <li>2.主体的な学びを実現する学習展開の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要感のある学習課題の設定</li> <li>・学習の見通しをもち、自ら主体的に取り組むための工夫</li> <li>・自分の考えをもつ場の設定（ICTの効果的な活用、ノートづくりなど）</li> </ul> </li> <li>3.自己の考えを広げ、深める場の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの考えを伝え合い、考えが深まっていくための対話的な話し合い活動の工夫（ICTの効果的な活用、問い返し、教師の評価言など）</li> <li>・学びの成果を実感し、自己の変容がわかる振り返りの場の設定</li> </ul> </li> </ol>		D めざす子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び続ける子</li> <li>・主体的に問題解決しようとする子</li> </ul>
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業記録（教師の発問・働きかけ、児童の発言・活動など）や研究協議を通じた分析。</li> <li>・ノートやワークシート、タブレットの記述を基に子どもの変容を見取る。</li> </ul>		
	G 研究計画 <p>1学期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態把握、研究の方向性の共通理解</li> <li>・研究の計画・立案</li> </ul> <p>夏季休業中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力分析</li> <li>・授業構想、事前研究、指導案審議、指導案作成</li> </ul> <p>2学期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究、協議</li> </ul> <p>3学期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果と課題の共有、来年度に向けた話し合い</li> </ul>		